



収集

あつめてのこす

保存

Collect... Preserve
The present collection in the future century

2020(令和2)年

4月4日(土)～5月17日(日) 会期中無休

開館時間／午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで)

観覧料／一般600円(団体480円)、大学生400円(団体320円)、高校生以下無料

*団体は20名以上、*前売券は販売しません、*年間観覧券所持者は無料

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳及び被爆者健康手帳所持者とその介護者1名、高知県及び高知市の長寿手帳所持者は無料

主催／高知県立美術館

後援／高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、NHK高知放送局、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知、高知シテイFM放送
研究協力／東海大学情報技術センター、日本電子株式会社
森村泰昌(画像(電子))1988-90年 © Yasunasa Momura

高知県立美術館
THE MUSEUM OF ART, KOCHI

781-8123 高知市高須353-2 ☎088-866-8000 ■088-866-8008 moak.jp

収集 → あつめてのこす ↓ 保存

Collect → Preserve The present collection in the future century

「美術館」と聞いた時、まず思い浮かぶのは、きらびやかな作品が並ぶ展示会のイメージではないでしょうか。しかし、華やかな展示会の開催だけが美術館の使命ではありません。美術館はアートを「収集」し、次世代に託すために「保存」する現場でもあるのです。

本展では、「収集」と「保存」という、美術館が司るふたつの機能に着目してコレクションを展覧します。「収集」のセクションでは、「なぜこれがここにあるのか」という視点から、来歴や収蔵経緯、アート市場における評価など、収集にまつわる様々なエピソードを交えて作品をご紹介します。一方の「保存」では、当館が1998年の高知豪雨水害で被災した歴史を踏まえた上で、作品修復や素材技法を調べるための科学分析、作り手であるアーティストへのインタビューといった多角的なアプローチを通じ、姿かたちを持つ作品＝モノを、美術館という制度で残し伝える営みが孕む限界と可能性を探ります。美術館で作品を「収集→保存」にあつめてのこす出来事や課題を知ることは、通常の鑑賞体験では見過ごされがちな、過去に作品と関わってきた人々の記憶に触れることにもつながります。本展は、当館のこれまでのコレクション形成の歴史を辿るだけでなく、作品の過去と未来の姿に思いを馳せ、地域における美術館の役割を再考する機会となるでしょう。



ここは、
過去・今・未来を
つなぐ場所。

関連企画

高知県立美術館×高知 蔦屋書店×地域文化計画

展覧会プレトーク「修復家のお仕事」

講師/大原秀之(絵画修復士)

3月28日(土) 19:00~20:00 聴講無料・定員40名(立ち見自由)

※事前予約は原則不要ですが、席を確保したい方は3月27日(金)までに、「展覧会プレトーク参加希望」のタイトルで、本文にお名前と人数をご記入の上、地域文化計画のアドレスopath2019@gmail.comまでお申し込みください。

会場/高知 蔦屋書店 2階イベントスペース(高知市南御座6-10)

お問い合わせ/特定非営利活動法人 地域文化計画 ☎080-6721-3074(担当:中村)

作品修復の
プロフェッショナルが
お話しします!

関連映画上映会「アートのお値段」

作品の価格を題材にアート市場の裏側に迫るドキュメンタリー。バスキアやリヒターなど、本展出品作家も登場します。

4月29日(水・祝) ①10:30~②13:30~③16:30~④19:30~

会場/高知県立美術館ホール

入場料/1,000円(展覧会半券提示で1,000円→600円に割引)

2018年/アメリカ/98分/英語/BD/カラー

原題:THE PRICE OF EVERYTHING/配給:ユロススペース

監督:ナサニエル・カーン/出演:ラリー・ブーンズ、ジェフ・クーンズ、エイミー・カベラツォ、ステファン・エドリス、ジェリー・サルツ、シモン・デ・プリ、ジョージ・コンド、ジデカ・アクーニール・クロスビー、マリリン・ミンター、ゲルハルト・リヒター他

シンポジウム「公立美術館における収集と保存」

現在の公立美術館が直面している、作品を「あつめてのこす」難しさや課題について検討し、これからの美術館のあるべき姿を探ります。

5月2日(土)13:00~16:00 聴講無料・事前申込不要(定員:先着50名)

会場/1階 講義室 ※情報は当館ウェブサイトに随時更新します。

第1部 発表

塚本麻莉(高知県立美術館学芸員、本展企画者)

田口かおり(保存修復士、東海大学情報技術センター特任講師)

天野太郎(横浜市民ギャラリーあざみ野 主席学芸員、札幌国際芸術祭2020 統括ディレクター)

第2部 発表者によるディスカッション

担当学芸員によるギャラリー・トーク

4月5・19日、5月3・6・17日、各日14:00~

※5月6日(水・祝)以外は日曜日

集合場所/1会場入口

参加無料(要当日観覧券)

4/19 Guided tour with English translation

(英語通訳付き)

2:00 pm -

Free with museum admission; reservations are not necessary.

5/3 手話通訳付き

協力:一般社団法人高知県聴覚障害者協会

無料託児サービス[要当日観覧券]

有資格のベビースITTERによる託児サービスです。ご観覧中、安心してお子様をお預けいただけます。

4月29日(水・祝)~5月3日(日)

全5日・各日2回(10:00~12:00/13:30~15:30)

場所/1階 講義室(定員各回10名・入替制)

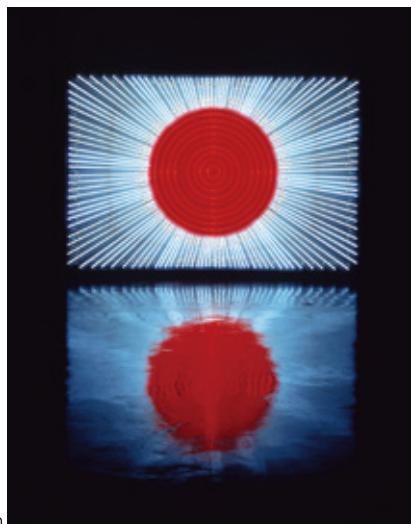
申込方法/☎088-866-8000にお問合せの上、

4月26日(日)までに申込書をお送りください。

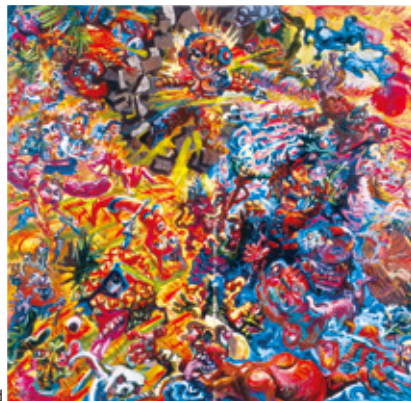
SITTER提供/NPO法人ムッターシューレ

ティーチャーズ・ウィーク

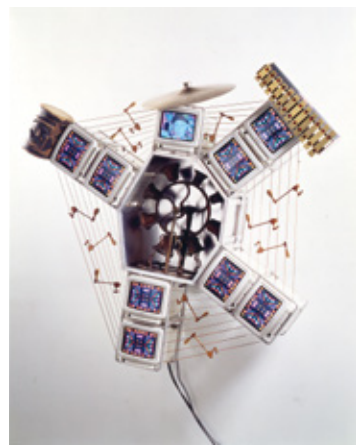
4月12日(日)から19日(日)までの期間中、高知県内の教職員の方を展覧会に無料でご招待します。園工や美術以外の先生でもご参加いただけます。4月11日(土)までに☎088-866-8000にて事前にお申し込みください。



b



d



c



e

a. アンセルム・キーファー《アタノール》1988-91年 ©Anselm Kiefer

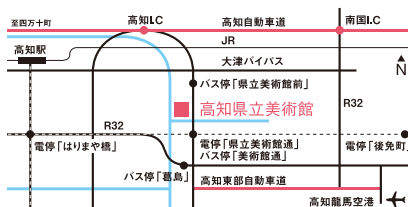
b. 柳幸典《ヒノマル・イルミネーション》1992年 ©Yukinori Yanagi

c. ナム・ジュン・パイク《カウベルはベートーヴェンの交響曲第9番ほどに美しい》ジョン・ケージ 1958)1991年 ©Nam June Paik Estate

d. 篠原司男《空海現る》1995年 ©Ushio Shinohara

e. 高嶋元尚《作品》1958年(2000年頃の再制作)

※作品は全て高知県立美術館所蔵



高知県立美術館へのアクセス

■「はりまや橋」からとさでん交通路面電車「ごめん」、「鎮石通」または「文珠通」行きで15分、「県立美術館通」下車すぐ ■車・タクシーをご利用の場合は、JR高知駅から20分、高知龍馬空港からは30分、高知自動車道南国インターから15分、高知インターから10分 ■高知龍馬空港からは、高知市内一空港間を結ぶ連絡バスもご利用いただけます。バス停「葛島」で下車徒歩約15分。